

活動紹介：母性看護 CNS は妊娠・出産・育児のサポート者

～世の中のお母さんたちが気軽に相談できる体制づくり～

昭和大学病院総合周産期母子医療センター産科部門
母性看護専門看護師 佐藤陽子（さとう ようこ）

みなさん母性看護専門看護師って知っていますか？わたしは妊婦さんや産後のお母さん、ご家族に対して「妊娠・出産・育児のサポートや困りごとを解決するためのサポートを専門にやっているものです」と紹介させていただいています。



スタッフから受けるケアの相談風景

わたしの勤務先は母体救命にも対応する東京都の認定を受けたスーパー総合周産期センターです。母体救命が必要な方はもちろん、元々病気を持って妊娠をされた方や妊娠中に何らかの病気が見つかった方、誰にも相談できなくて出産に至った方、妊娠中に赤ちゃんの病気が見つかった方、赤ちゃんを亡くされた方など様々な対象の方がいらっしゃいます。そのような方々に直接サポートをさせてもらうこともあります。皆さんに直接関わる助産師や地域の保健師・助産師を後ろからサポートすることもあります。そのため院内を歩き回り、神出鬼没ともいわれます。

わたしが現在力をいれているのは周産期のメンタルヘルスです。産後うつは10～20%の人になるといわれており、支援が行き届かないと病状は悪化し最悪自殺につながります。そのため世の中のお母さんたちが気軽に相談できるような体制づくりのために、東京都城南地区（品川区・大田区）にメンタルヘルス連絡協議会を立ち上げ、医療機関（産科・小児科・精神科）と行政機関、教育機関を巻き込んで周産期に関わる職種の対応能力向上をはかっています。いつか日本全国どこにいても望むときに支援が受けられること、産後うつで自殺するお母さんゼロを目指し頑張っています。

<CNSの実践機能>